

青木かのチャンネル

2025 新春号 (第50号)

発行：青木かの事務所 〒104-0052 中央区月島3-3-13-502



青木かの プロフィール

長崎市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。
元テレビ局アナウンサー・通訳・英語講師。
水辺を活用した街づくりと災害対策に取り組む。
小型船舶免許1級所持。

防災用品の申し込みはもうお済みですか？

昨年2024年は、能登半島大地震という大災害から始まりました。区民の皆さんの中でも災害への不安が高まったのではないのでしょうか？中央区も同じです。令和6年度一般会計予算は、ほぼ決まっていたので、必要な防災費等については随時補正予算で対応しています。

私は、以前から「**防災用品カタログ**」を推奨してきました。各個人・家庭によって必要な防災用品は違います。現時点での備蓄状況も違います。そこで、**防災用品をカタログにして区民の皆さんが選べる**選択肢を増やすことを提案してきました。これに昨年の6月補正予算がつきました。

皆さんのお手元にも、もう届いていると思います。**赤ちゃんからシニアの方まで、区民お一人あたり等しく5千円。**

家族でポイント(金額)を合算して使うこともできます。是非、中央区防災カタログを見ながら、ご家庭に必要なものを話し合っただけであればと思います。**これがそのまま家庭内防災訓練につながります。**



日頃の活動が認められ令和6年度東京都功労者表彰を受けました。

311の惨事を決して忘れない。カーボンゼロに向けた取り組み

昨年「脱炭素による未来共創に関する連携協定」を締結した福島県大熊町へ視察に行ってきました。

今後の大熊町との協力事項は、

- ①再生可能エネルギーの創出および利用拡大
- ②職員の交流等の人材育成
- ③住民の交流による脱炭素化に向けた環境学習の推進等

ゼロカーボン推進による復興を進める大熊町。一方、中央区も新たに、CO2排出量の約7割を占める電力の脱炭素化に向けて館山市の区有地を活用した太陽光発電所の整備を進めています。

かつての原発のまち大熊町が自然エネルギーのまちとして生まれ変わる。大熊町にはすでに送電線が2系統あります。大熊町で生み出される電気を中央区で活用していくこと。そして東京電力福島第一原発事故の惨事を決して忘れてはいけません。



地元の新聞社から取材も

大熊町メガソーラー

佃1丁目の旧飯田家住宅が国の登録有形文化財に！

令和6年度、中央区内では他に旧宮脇ビルと銀座大野屋店舗兼主屋が登録されています。

中央区では、大規模な「市街地再開発事業」が進んでいますが、あくまでも中央区の歴史的な文化財を残しながら、というそのバランスが必要だと考えます。しかしこうした文化財を守るための条例がなぜか中央区にはありません。

「旧飯田家住宅」は、これまでも多くの建築士やまちづくりの学識経験者が訪れ、当時の住宅の研究対象となっていました。魚問屋の店舗兼住居として大正9年に建て

られましたので、商売道具から日常生活用品まで当時をしのばせる貴重な物資は中央区教育委員会の協力で郷土資料館に保存されることになりました。

しかし、家屋そのものが解体の危機にあり、地元の皆さんを中心とした「旧飯田家住宅保存活用プロジェクト」が立ち上がり、多くの皆さんがクラウドファンディングで資金的に協力して下さいました。今後の旧飯田家住宅の活用が注目されています。



旧飯田家住宅

中央区から発信中！

Find us on
青木かの 検索

@kanoaoki
http://twitter.com/kanoaoki/

YouTube 青木かのチャンネル
https://www.youtube.com/user/kanoaoki

Blog 月島日記
https://ameblo.jp/kano-aoki/

皆様のご意見・ご要望は

青木かのオフィシャルサイト Kanoaoki.com

青木かの

または電話(090)4829-4702まで



オフィシャルHP



ブログ

新しい朝潮運河船着場と黎明小橋

このエリアは「勝どき東地区第一種市街地再開発事業」に含まれます。そこで、晴海側にあった船着場の勝どき側への移転と整備は地域貢献策として事業者が行いました。私の臨海部防災クルーズでも昨年、この新しくなった朝潮運河船着場を使っています。

また、新しく歩行者専用橋（黎明小橋）も事業者が設置し、竣工後区に引き継がれました。

今後まだまだ勝どき・晴海の人口増は続きます。

朝の通勤・通学時間帯に晴海通りに集中する地下鉄勝どき駅周辺の人の流れを分散するとともに、災害時には重要な避難路となります。

スーパー堤防と石川島公園の再整備

中央区は、令和5年「中央区水辺環境の活用構想」を策定。これに基づき、隅田川や日本橋川、朝潮運河など都内随一の水辺空間を区民の憩いの場として活用していきます。

今年度は石川島公園内をモデルに、水辺空間のさらなる整備に向けた調査・検討が行われています。

石川島公園周辺は約6mのスーパー堤防で囲まれています。スーパー堤防は、古いカミソリ堤防と違って、芝に覆われたなだらかな斜面と、上部は植栽されているのが特徴で、安全性を高めるとともに緑被率のアップにも貢献しています。



荒れた浮島と進入禁止の親水エリア



朝潮運河船着場(上)と黎明小橋(下)

防災船着場から災害拠点病院までのスムーズな動線確保

中央区内には、現在、朝潮運河・明石町・新川・箱崎町・浜町・日本橋・日本橋川常盤橋、そして昨年晴海フラッグ内にオープンした晴海5丁目の8つの「防災船着場」があります。今後、月島3丁目と築地市場跡地にもできる予定です。防災船着場は、普段から民間にも積極的に開放し、区民の皆さんにも屋形船だけではなく、身近なレジャー、身近な交通手段として使っていただくことが重要だと思っています。

今、都は中央区と協力しながら隅田川テラスにある防災船着場に降りるスロープを設ける工事を進めています。これは、災害時に4トン以下の車両がアクセスできるようにするためのスロープです。

特にこの明石町防災船着場は区の唯一の災害拠点病院、聖路加国際病院と隣接していますので、災害時には医療用物資や疾病者を搬送する重要拠点となります。現在、浜町防災船着場でもスロープ設置の工事が行われています。



工事中のスロープ

防災クルーズ2024



区内河川の不法係留と違法建築物について

私は、区内河川や運河の不法係留や沈没船、違法建築物の撤去と水辺の浄化に取り組んでいます。災害時、廃船や沈没船が、船の進行の妨げになるからです。特に月島川は月島水門から隅田川に出ますので、水門周辺の整備は重要です。

さらに、月島川に沿って「みどりの



月島橋をくぐる防災クルーズ船

散歩道」があり月島のまちの風景にも大きな影響があります。

区が今年度実施した不法係留船舶実態調査によると、月島川で35隻を確認。所有者に対し、まずは自主的な移動や、撤去を指導しているということです。月島川は、ここ数年で随分きれいになり、カルガモや野鳥を多くみかけるようになりました。